

## 平成30年度第1回北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会 会議録

日 時	平成30年8月27日（月）18:00～18:50
会 場	市役所4階 4D～4F会議室
出席委員	高山隆二会長、渡部斎副会長、高屋健一郎委員、福島宏幸委員、高嶋真一委員、平川一省委員、佐々木一友委員、高橋浩子委員、丸山真嗣典委員、高橋潤一委員
欠席委員	菅原弘恵委員、工藤秀次委員、河村英俊委員
市出席者	【教育委員会】千葉教育部長、佐藤教育部次長、下野教育総務課長、河合学校教育課長、冨田小中一貫教育課長、竹内主査

## 1 開会

「委員の過半数が出席していることから、委員会が成立していること」を確認した。

## 2 役員を選出

委員の中から事務局に一任したい旨の発言があり、事務局から、会長を高山隆二委員、副会長を渡部斎委員とする案を提案し、承認された。

## 3 諮問

「北広島市立小学校及び中学校の適正規模の在り方について」諮問した。

## 4 議事

(1) 議事録の公開方法として、非公開情報に該当するもの以外は、公開することとし、また、議事録は要点記録とすることを提案して、承認された。議事録署名委員には、佐々木委員が、高山会長から指名された。

(2) 北広島市立小中学校の現状について、事務局から資料に基づき説明を行った。

## 【質疑応答】

◆A委員：児童生徒数が大幅に減少していく学校を中心に適正規模を考えるのか、それとも、現状と変わらない学校を含めて検討するのか、方向性として、どちらなのかを教えてください。

●事務局：今回諮問した適正規模については、下限と上限があり、国の基準では小中学校ともに12学級以上18学級以下と示されているが、地域の実情に応じて対応することとなっているため、今後、下限・上限について、どのような規模が北広島市の学校において、適正な数であるかを審議いただきたい。

◆B委員：早急に学校の統廃合をするということではないようだが、将来的にこのまま人口が減少していき、子どもの数も減っていくと、学校運営上、厳しい学校が出てくる可能性が大きくなる。将来的に何か目標を決めてあるのか、それとも、状況の経過を見ていきながら、検討していく形なのか。

●事務局：今回につきましては、まず平成17年度に審議していただいた「ものさし」を見直すということが第一義的なところであり、始めから統合ありきということではない。国の資料や道の資料にも、小規模な場合の教育手法について選択肢が示されているので、どのような方法を取りうるのかということについては、次の段階で検討していくこととなる

うかと考えている。

5 その他（次回以降の予定など）  
事務局より説明を行った。

6 閉会

会議録署名委員

佐々木 一友